



# アンビシャス



小さなこと  
できる嬉しさ  
生きていりや

表紙は語る  
「筋ジストロフィー」

アンビシャス通信

7月の報告あれこれ

こころの現場から

つぶやきチャンプルー

シリーズ 第17回

『患者学』 加藤 眞三教授

沖縄県難病団体の掲示板

団体定例会・交流会スケジュール

沖縄県内難病患者団体一覧

編集後記

アンビシャス広場

エッセイ 西兼盛 鉄さん

難病短歌・川柳

お勧め映画情報

占い

アンビシャスメモ

保健所からのご案内

平成28年度

訓練生募集の案内

患者・家族交流会のお知らせ

アルバイトの募集

## 表紙は語る

登川 正美（のぼりかわまさみ）さん 筋ジストロフィー

## 小さなこと できる嬉しさ 生きていりや



退職後のリハビリ風景（当時はまだ自力で立てた）

発症ははつきりとは覚えていませんが中学3年の頃だったと思います。しかし、その頃はまだ歩けるしスポーツもしていました。高校生の頃も自覚症状はほとんどなかったのですが、病気の進行を抑える注射を打つため当時与儀に在った沖縄整肢療護園に、高校在学の3年間は毎日通っていました。卒業後は県内で公務員として50代まで勤めその間、多少手の動き

にぎこちなさは感じましたが治療のために病院へ通う事もなく普通に生活をしていました。

50代になった頃、病状がかなり進行したため止む無く早期退職しました。しかし、いざ退職したら途端に暇な時間が多くなり、何か楽しみを見つけないと独学で絵を描きはじめてました。これまで特に絵が好きだという事も無かったので

すが、体が動きにくくなる中で「何か出来ることはないか」と考えている内に絵を描くことが浮かびました。初めて通信教育で油絵の画材セットを手に入れ、当初は妻の協力で外に出かけては風景を描きました。しかしだんだんと外出も難しくなり、筆も重く感じるようになったので、比較的筆がスムーズに動く水彩画に変更しました。

題材は沖縄野鳥研究会の「嵩原健二」氏の地元紙やカレンダーに掲載された、野鳥や動物の写真をもとに自分なりのアレンジを加え描きました。

握力が弱いような震えもあるため、震えが収まる一瞬に集中して色を紙の上に置くように重ね、それを何度も繰り返し1枚の絵に仕上げていきました。腕が疲れるため一日に描く時間も限られ、一枚の絵を仕上げるのに一ヶ月程もかかりました。この様に時間をかけ完成



昨年発行の画集「沖縄のいきもの」より掲載の1点

させた絵の集大成として、昨年「沖縄の生きもの」という画集にまとめ上げました。嵩原さんの写真を参考に描き始めたのが縁でお近づきになれ、画集の発行の際にも嵩原さんや沖縄タイムス社の安里真己さんから色々なアドバイスを頂きました。そのご協力もあり私の想像以上の作品集に仕上がりました。見てくださる方がいましたらこれ以上の喜びはありません。最近では脳出血や糖尿病の影響で視力も落ち、筆を握る力もなくなり、





若い頃に熟中した  
詩吟の発表時の衣装

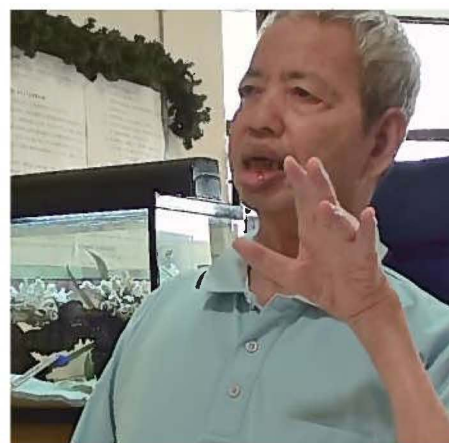
絵を描く事が困難になりあきらめました。

私は若いころから多趣味で仕事の傍ら様々な事に関心を持ち楽しんできました。

漢詩にも興味があつたので20代から詩吟「神心流」を習いました。声高らかに吟じるのは楽しく、15人ほどの門下生と共に発表会の舞台に立つことが出来ました。また老人ホームや公共施設、刑務所などへ慰問やチャリティー公演をするなどいろいろと経験させて頂きました。

その当時、県内には詩吟連盟がなく各流派が一同に集まり、初めての合同詩吟発表会を盛大に行うことができたのは良い思い出です。また草花が好きで、それを表現するために草月流の生け花を習いました。

本家の家元先生をお迎えして、無



ご利用のリハビリ施設にて取材時

事に県支部が設立されるのにも立ち会い、家元主催の生け花講習会に参加したのも思い出深いです。それから職場では囲碁が盛んで、私も先輩方から囲碁を教えてもらい、あちらこちらの囲碁クラブで腕試しをしました。職場大会で優勝したこともあります。他の地方大会では五段戦まで進んだこともあり大変嬉しかったものです。やり始めるとのめり込むタイプなのか、どの趣味もある程度のレベルには達していたと思います。私はいつも思うのです。足が動かず車いすになり、手も思うように動かなくなった現在。この様に失った機能を嘆いても仕方ない。今使える機能を存分に使い、今出来る事、楽しみを見つけていこうと。過去は過去として、今後どう

生きて行こうか。悔いのないように何をすべきか。どの様に自分を活かしていくべきか。そんな風に思うのです。

最近カラオケの他、俳句や短歌作りが楽しみとなっています。

リハビリ施設で仲間とカラオケを存分に歌い、日々の出来事を毎日欠かさず俳句や短歌にしてノートに書き留める。その様にして書き留めた詩もいつの間にかノート六冊分にもなりました。

最後に一句  
小さなこと  
できる嬉しさ  
生きていりや  
(2016年7月20日 作)

字は利き腕の右手で書きますが、右手は上に上げることが出来ないで、机に手を寝かせたまま、滑らすようにゆっくりと書いています。しかし句が浮かぶのは昼間とは限らず、夜ふと寢床で良い句が浮かぶときは、妻にお願いして口授したものを書き写させています。この様な私を妻は献身的に支えてくれました。ずっと共稼ぎで、苦労も多かったと思いますが離れずそばにいてくれました。深く感謝するばかりです。

現在、自力で歩く事も出来ず、車いすの生活ですが「水の中だった自分の足で歩けるのでは」とほのかな希望を持っています。どんな



#### 語者プロフィール

### 登川 正美

(のぼりかわ まさみ)さん

1947年那覇市生まれ

中学3年の頃発症するが、日常生活に大きな支障はなく50代まで公務員生活を送る。その後病状が進行したのと、脳出血が重なり早期退職。退職を機に絵を描きはじめる。

2015年10月 画集「沖縄の生きもの」を出版、現在に至る。



## 7月の報告

## あれこれ



## ハローワークによる

## 「出張就労相談」開始！

7月より初の試みとして、毎月第3火曜日 午後1時半から3時半の2時間、ハローワーク那覇「難病患者就職サポーター」の國仲さんによるアンビシャスでの出張就労相談を開始しました。

今月は「現在就労中だが、もう少し条件の良い仕事を探したい」、「病氣治療が落ち着いたので仕事を探したい」という2組の方が求職相談に来られ、病氣の状態について確認させていただいた後、就労において配慮が必要なことや希望する職種や収入など、就労に向けての基本的なお話を伺いました。今後も、ハローワークと連携して相談を継続し、納得のいく求職活動ができるようにサポートしていきたいと思います。



難病患者就職サポーター  
國仲郁代さん

落ち着かない方もいるかもしれませんが、リラックスした雰囲気です。就労の相談をしてみませんか。

「難病であることを会社に伝えたい」、「どのような職業を選べばよいのか」など、お仕事についてのお悩みをお持ちの方はお気軽にご相談ください。

また、難病をお持ちの方を雇用されている、または、雇用を検討されている事業主の方のご相談もお受けしています。

ゆつくりと相談できるように予約制になっておりますので、時間厳守でお願いします。

## \*経過報告

難病患者就職サポーターの國仲さんより、出張相談後ハローワークの専門援助部門へ求職登録をした方から1名の就労が決まったと嬉しい連絡がありました。

## 那覇市保健所の

## 「保健師連絡会議」への参加

那覇市では毎月1回、全保健師が一堂に会す「保健師連絡会議」があり今回、特別にお時間を割いて頂き、アンビシャスの難病支援活動の概要説明をさせていただきました。

同保健所では昨年度より全ての保健師が難病に関わる事となり、全ての保健師に難病についての理解を深め仕事に活かして頂く事を目的に、昨年に引き続き難病相談支援センターとしての活動やその他支援活動の説明をしました。

沖縄県では台風による停電も多く停電に備え、特に保健師さんとの連携が重要となる非常時の電源確保策の説明や県のバッテリー等貸与事業の概要説明、また難病により声を失った方への意思伝達装置の体験貸し出し、今後注力していく就労支援等について重点的に説明させていただきました。

アンビシャスでは難病のみな様のQOL(生活の質)向上を目指し、各保健所やその他関係機関との連

携を今後とも強化して参ります。4  
那覇市保健所のみな様、指定難病の受給者証の更新手続きでお忙しい中、貴重なお時間をいただきありがとうございます。



昨年の保健師連絡会議風景

## こころの現場から

### 「傾聴」テクニクは、こころを共に

ピアサポートでも日常会話でも人の話を“きく”ときに大事になることは、“聞く”でもなく“訊く”でもなく“聴く”であるということはお存知だと思います。いわゆる“傾聴”は、人が会話中の“なるほど”という言葉や《きちんと聴いてもらえている》と受けとる傾向があること、“ふむふむ”という相槌を《もつと話をしてもいいんだ》《この人は自分の話を聴いてくれている》と感じる傾向があることを活用したカウンセリングの技です。

このような傾聴の技はピアサポートでのこころの癒しを生み出す際にも日常生活での人間関係を円滑に進める際にも効果的ですし、実際に自分が相手の話をしっかりと聴いていることを伝えたいときにもとても有効です。

その反面、この技を身に付けると聴いているピアサポーター自身がこころから納得して《なるほど》と感じられない段階でも、聴く技だから…と焦

り「なるほど」と伝えてしまうことがあります。このような場合、3ヶ月程するとピアサポートもうまくいかない事態になります。

技が先行すると、こころが言葉に伴わない事態に陥るきらいがありますが、この事態を防ぐためにも、ピアサポーターのこころに素直に生じたことを言葉にしようと意識することが大切です。ピアサポートで一生懸命に話を聴きつつ、わからないことを素直に時々伝え返すことを繰り返している、自然に相手に、一生懸命に理解しよう努力し力になりたいと思っていることが（その瞬間ではなくても何年も経って振り返った時にでも）伝わるものです。

一生懸命に聴いている、そのピアサポーターの姿勢によっても、人は自らの存在価値を再確認し、癒され、自ら生きていく力を回復させていくのです。



臨床心理士  
鎌田 依里  
(かまだ えり)

## つぶやきチャイム

### 台風のおかげです

9月といえば、過去に関東大震災や伊勢湾台風が発生していて、台風の本土上陸も多く甚大な被害をもたらす事が多い時期です。

天災は忘れた頃にやってくるといいますが、常に備えを忘れないようにしておきたいものです。地震等に比べ台風は予測できる災害です。気象予報が発達した現在、台風の進路はかなり正確に予測されてきました。しかしながら沖縄では毎年のことなので慣れてしまい、台風が来てもつい「我が家は大丈夫だろう」と気持ちいが緩みがちです。いざ台風が接近してから、あわてて電池を買いにいったら、どこも売り切れで「もつと早く準備しておけば良かった」と後悔したことも何度かあります。最近では以前のように停電は少なくなつたとはいえ、停電になるとテレビは見られない、携帯電話のバッテリーが切れインターネットの災害情報も閲覧出来ない、暑くて寝苦しく、全く快適ではありません。その様な停電時でもカーバッテリーとインバーターさえあれば数時間の電源は確保できます。その備えが予期せぬ地震など他の災害時に役立つのです。

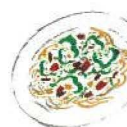
「沖縄は台風のおかげで災害に強い県です」

と言える日を目指し、まず我が家を快適に過ごせるように準備

しています。



著：照喜名 通





## シリーズ「患者学」第17回

慶応義塾大学看護医療学部

教授 加藤 眞三

## 医師(医療者)の歴史的役割と患者との関係性

はじめに

前回まで、医師(医療者)との関係性が未来に向かって変わってきたことを述べてきた。しかし、患者にとっても医師(医療者)にとつても、両者の関係性は歴史的な経過の中にしばられていた部分があり、そこから抜け出せないという現状がある。

そこで、今回は、医療の歴史から両者がどのような関係性を経てきたかを振り返り考えてみたい。なお、ここで医師と表記するのは、医療を施行する者を表しており、現代社会の医療は多職種チームにより行われているため、医療者と置き換えることもできる。

## 呪術者としての医師

医療の知識も技術も未熟な時代には、病気は不可知なものであり医師は呪術者として病気を治す役割をになっていた。命をおびやかす重い病気になって、患者が最後に頼るのは神仏であり、超自

然的な感覚をもつ神の代理人として医師がいた。

この時代には、どんな病気であっても最後に頼れる存在として医師の役割があつたが、現代の医師はこの役割を放棄していることが多い。

## 智慧を持つ父親としての医師

その後、個人的な経験が積み重ねられ医療の智慧が集積する。専門家、つまり医師の間でその智慧が独占され伝えられてきた時代が長く続く。智慧を蓄えた医療の専門家が的確に判断して患者を治すという時代では、正解は専門家である医師のみがもっており、父親と子供のようない関係性で医師は患者に接することになる。ヨーロッパではソクラテスの医療の時代である。

患者は父親のように指示し医療を施してくれる医師を頼もしく感じる。その反面、素人の患者には文句を言わせないという厳しい父親としての一面がある。

## 科学者としての医師

16世紀以降の近代科学の進歩とともに、やがて、その考え方が医療の世界にも持ち込まれてくる。医療は個人的な経験の積み重ねではなく、多くの患者のデータを統計的に処理した上でえられる証拠(エビデンス)に基づいて提供することが医師の役割であるとの意識が医師の間に芽生えてくる。病気には原因があり、その原因を取り除くことが医師の役割となる。原因を究明するためや治療法の開発などが患者一人の命よりも重く、科学の進歩を優先する考えを持つ研究者としての医師が出現する。

科学者としての医師は、対象としての患者を冷静に、そして距離をおいてみることにトレーニングされる。患者は医師からの冷たい視線を感じ、研究材料として利用されるのではないかと感じる。

## 保健医療受託執行人としての医師

さらに、社会の進展とともに、医療は社会制度の一部に組み込まれてくる。医師は科学者としての側面だけでなく、社会制度

の中で保険医療を施すことが許された特定の集団の一員という側面を持つことになる。医師は、健康保険で許された範囲の中で医療を行うことが求められ、患者は医師を通してその社会が提供する保険医療を受けることが可能となる。ある一定以上の水準が医療に確保されることになる。

患者はどんな治療であっても良いと思われるものなら何でも施して欲しいと希望するが、医師の側は保険で定められた範囲の中で医療をおこなうことが要求されている。次号に続く

## 患者の力:

患者学で見た医療の新しい姿

出版社: 春秋社

「患者には力がある!」毎日健康に生きるために、そのためには、真の患者中心の医療を実現するために、いま必要なことは。



## 加藤 眞三

1980年、慶應義塾大学医学部卒業。1985年、同大学大学院医学研究科修了、医学博士。1985-88年、米国ニューヨーク市立大学マウントサイナイ医学部研究員。その後、都立広尾病院内科医長、慶應義塾大学医学部内科専任講師(消化器内科)を経て、現在、慶應義塾大学看護医療学部教授(慢性病態学、終末期病態学担当)。



翌朝屋久島到着、棧橋に動くリゾートホテルが接岸、6時30分よりバイキングでの朝食「おう美味しい」11月号に続く

 **お勧め映画情報**

「クロウ／飛翔伝説」1994年作

恋人を殺された男が、死の国の使者であるカラスの神秘の力を得て復讐するというもので、ブルース・リーの息子、ブランドン・リー主演。

しかし彼は、空砲のはずの撮影用の拳銃に  
何故か実弾が入っており撮影途中に28歳  
の若さで事故死している

※ちなみにブルースは享年32歳。

撮影はほとんど済んでいたが、一部でCGを使ったといい当時としては画期的。

渡久地 優子

(進行性骨化性線維異形成症(FOP))

カラーセラピーやパワーストーンも好きで、時々、ネットで見てます。

難病短歌 難病川柳

難病短歌

難病がある方や家族の方から短歌・川柳を募集しております。採用の方には寄稿料として千円相当のクオカードを進呈します。詳細は事務局までお問い合わせください。

忘れ物 財布の時は まあいいか  
薬の時は 慌てて戻る

ペンネーム 樹々さん(バーキンソン病)  
財布を忘れてもお金を使わなければならないが、薬が無い(飲まない)と動けなくなってしまう。ホントに変な病気!!

難病川柳

だれ語る テレビと日暮し 話してよ

登川 正美さん(筋ジストロフィー)  
介助者がいないと外出もままならず、一人のときはもっぱらテレビが話し相手。

今日の占い

牡羊座 3/21-4/19 ————  
努力は報われると信じて ス…音楽

獅子座 7/23-8/22 —————  
相手の身になって考えてみて ス…食事

射手座 11/22-12/21  
波はある、止まない雨は無い ス…ストレッチ

牡牛座 4/20-5/20 ————  
直感を信じて我が道を ス…掃除

乙女座 8/23-9/22 —————  
心も体も、無理はせずに ス…料理

山羊座 12/22-1/19  
迷路は必ず抜け出せる ス…読書

双子座 5/21-6/21 —————  
明日は明日の風を吹かせて ス…娯楽

**天秤座** 9/23-10/23 —————  
 起こる物事には理由がある **ス…会話**

水瓶座 1/20-2/18 —————  
心の整理は日記等を書く事 ス…ドライブ

蟹座 6/22-7/22 —————  
無になれる時間も必要です ス…瞑想

蠍座 10/24-11/21 ————  
自分の意思を強く持って ス…仮眠

魚座 2/19-3/20 ————  
一期一会で優しい心を ス…運動



## 沖縄県内 難病患者団体 掲示板

2016年9月の

## 各団体定例会・交流会スケジュール



| 団体名                               | 日(曜日)  | 時 間         | 場 所                                   |
|-----------------------------------|--------|-------------|---------------------------------------|
| 脊髄小脳変性症/多系統萎縮症 中部患者・家族の会          | 8日(木)  | 16:00~17:00 | コザクリニック会議室                            |
| 八重山クローン病・潰瘍性大腸炎患者・家族の会            | 10日(土) | 14:00~16:00 | 八重山保健所                                |
| あいのかい<br>愛・Eyeの会(宮古地区・網膜色素変性症患者会) | 10日(土) | 14:00~16:00 | 宮古保健所1階 危機管理室                         |
| 全国膠原病友の会・沖縄県支部                    | 11日(日) | 14:00~16:00 | 那覇市保健所3階 多目的室C                        |
| 沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会                 | 14日(水) | 19:00~21:00 | 那覇市保健所3階                              |
| 四つ葉の会(宮古膠原病友の会)                   | 17日(土) | 14:00~16:00 | 宮古保健所1階 危機管理室                         |
| MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)              | 18日(日) | 16:00~18:00 | サンアビリティーズうらそえ 研修室                     |
| 全国パーキンソン病友の会沖縄県支部                 | 18日(日) | 12:30~16:00 | 那覇市保健所3階 (10/2医療講演会計画、<br>詳細お問合せください) |
| 沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎友の会(中部地区)           | 20日(火) | 19:00~21:00 | 沖縄市福祉文化プラザ                            |
| 強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会                     | 22日(木) | 14:00~16:00 | 南風原町社会福祉センターちむぐくる館                    |
| 神経難病友の会八重山                        | 24日(土) | 調 整 中       | ボウリング大会(日時・場所調整中)                     |

※詳細は左記患者団体連絡先へお問合せください。



患者団体からのおたより

## 全国膠原病友の会沖縄県支部より 平成28年度 全国膠原病フォーラム in 沖縄の報告

去る4月16日(土)一般社団法人全国膠原病友の会「平成28年度全国膠原病フォーラム」が初めて沖縄で開催されました。大会の成功に向け九州・沖縄ブロックが結集して準備、地元沖縄の方はもとより全国からの会員をお迎えし盛会の内に無事終えることができました。

当日は、沖縄県の医療提供の歴史から現在に至るまでを、豊見城中央病院の塩平芳樹先生に、また「最近の膠原病治療の動向」と題し慶応義塾大学医学部教授 竹内勤先生にそれぞれわかり易く参考になるご講演を頂きました。

また沖縄県子ども生活福祉部 安里栄作氏により、膠原病患者が利用できる施策や利用状況のご説明を頂きました。

その後「膠原病とともに希望を持って暮らすために」私たちねがいをテーマに、青森県支部副支部長 永森志織氏の「膠原病患者を対象とした生活実態調査」より問題提起がなされ、当事者および家族の代表によるパネルディスカッションへと移り活発な意見交換がなされました。

ここ沖縄から全国へ最新の膠原病治療の動向また、難病法における福祉サービスのこれからの課題を発信する事ができ、充実したフォーラムとなりました。

開催にあたりご協力・ご支援、ご指導くださった方々へ心より感謝申し上げます。



# 沖縄県内難病患者団体一覧

| 団体名                          | 代表者            | 連絡先                                                                                                                                                                                   |
|------------------------------|----------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| OPLL(後縦・黄色靱帯骨化症)友の会          | 黒島 妙子          | (黒島)070-5413-8350                                                                                                                                                                     |
| 脊髄小脳変性症/多系統萎縮症<br>那覇・南部患者の会  | 井上 栄治          | (井上)090-5937-5292                                                                                                                                                                     |
| 沖縄クローン病・潰瘍性大腸炎 友の会           | 宮本 勝也          | (宮本)090-8413-2621<br>(上原)070-5819-4876<br>メール:k-mi-ya-18@docomo.ne.jp                                                                                                                 |
| 全国膠原病友の会 沖縄県支部               | 阿波連のり子         | (阿波連)090-1944-2441<br>メール:kougen- okinawa@cc.sunnyday.jp                                                                                                                              |
| もやの会沖縄ブロック                   | 金城 忠英          | (金城)098-879-5591                                                                                                                                                                      |
| 全国パーキンソン病友の会 沖縄県支部           | 又吉 忠常          | (又吉)090-8294-1974                                                                                                                                                                     |
| 日本ALS協会 沖縄県支部                | 伊波多和子          | (新里)090-5028-4599                                                                                                                                                                     |
| 全国筋無力症友の会 沖縄県支部              | 上原 アイ子         | (上原)090-7479-8841                                                                                                                                                                     |
| 沖縄県網膜色素変性症協会                 | 長嶺 房子          | 北部部会(伊良波) 電話・Fax:0980-53-1262<br>中部部会(金城) 電話:090-9787-9615<br>南部部会(譜久島) 電話:080-1766-2669<br>那覇・浦添連絡員(國頭) 電話:080-2773-1571<br>八重山部会(平良) 電話:090-5081-5622<br>宮古部会(伊良波) 電話:090-8294-6174 |
| 神経難病友の会八重山                   | 松藤 純           | (松藤)090-6635-4185<br>(島仲)090-8763-3670                                                                                                                                                |
| 八重山クローン病・<br>潰瘍性大腸炎患者 家族の集い  | 内間 洋子<br>村山 盛有 | (内間)090-9784-8219<br>(村山)090-1179-6912                                                                                                                                                |
| 強皮症・皮膚筋炎ゆんたく会                | 伊是名恵子          | (伊是名)090-3792-0199                                                                                                                                                                    |
| MS友の会(多発性硬化症・視神経脊髄炎)         | 仲里 清彦          | (仲里)090-8290-3569                                                                                                                                                                     |
| 四つ葉の会 (宮古膠原病友の会)             | 下地 ヒロ子         | (下地)090-5489-4109                                                                                                                                                                     |
| とぅんがらの会<br>(宮古神経難病・患者家族のつどい) | 砂川 泰彦          | (砂川)080-1536-9287                                                                                                                                                                     |

## 編集後記



9月、全国的には「初秋の候」とか「残暑見舞い申し上げます」と書き出すところですが、長い沖縄の夏、まだまだ夏真っ盛りと言ったところでしょうか。

読者のみな様、引き続き熱中症には気を付けてお過ごしください。

さて今月の表紙は筋ジストロフィーの登川さんに語って頂きました。

多少のハンデいはあってもいろんなことに挑戦してきた若い頃、そして年月と共に失われていく機能を受け入れ、今出来る事をフルに活用してアクティブに活動している姿に大いに反省させられました。私は自分の可能性を引き出しているだろうか、いい加減なところで妥協していないか、持てる能力を活かさないのもつたいないですよ。

明日から頑張ろう！(↑今日から頑張れ！)

当誌では「表紙は語る」の執筆者を募集しています。ご自身の体験談を掲載してみませんか、ご希望の方は詳細を事務局までお問合せください。お待ちしております。

## 2016年 9月の各保健所からのご案内

【北部保健所】Tel:0980-52-2704  
 【中部保健所】Tel:098-938-9700  
 【南部保健所】Tel:098-889-6945  
 【宮古保健所】Tel:0980-72-8447  
 【八重山保健所】Tel:0980-82-3241  
 【那覇市保健所】Tel:098-853-7962

9月の予定はございません。

平成28年度 障害者の態様に応じた多様な委託訓練

**訓練生募集の案内**～障害のある人の「働きたい」を実現するために**11月開講【募集期間：平成28年9月1日(木)～平成28年9月23日(金)】**

| コース名：地域ものづくり訓練科                                                                                                                                                                   |  | コースの種類：知識・技能                        |        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--|-------------------------------------|--------|
| 訓練期間： 11/1(火)～1/31(火)【3か月】                                                                                                                                                        |  | 定員：5名                               | 管轄：浦添校 |
| 募集対象：身体(上肢、下肢、弱視、聴覚(口話ができる方)、内部障害)、知的、精神、発達、その他(高次脳機能障害、難病等)                                                                                                                      |  |                                     |        |
| 訓練内容：<br>農業全般(畜産・加工・園芸)の知識を学び、自然農法で栽培を行い生産物を加工する技術を習得する。質の高い食への知識を取り入れながら健康な身体作りを行い、一般就労へ対応できる力を身に付ける。<br><b>【学科】</b> 職業生活訓練、安全衛生、農業座学、就職支援<br><b>【実技】</b> 農業実習、加工実習、調理実習、農業研修・見学 |  |                                     |        |
| 訓練実施場所： 西原町                                                                                                                                                                       |  | 委託先： NPO法人 池田ふれあいガーデン(098-943-1643) |        |

**患者・家族交流会のお知らせ！**

新たに誕生した患者団体が自助グループに向け2回目の交流会を下記日程で開催します。  
 通っている病院の情報や治療方法、体験談など当事者同士、気軽に情報交換をしませんか。  
 関係のみな様のご参加者をお待ちしています。**参加費無料！ 事前申し込み無し、現地集合！**

**場 所：那覇市与儀1丁目3-21 那覇市保健所 3階(多目的室)**

- ①『特発性拡張型心筋症患者・家族の集い』 日時：2016年 9月10日(土) 14:00～16:00  
 ②『バージャー病患者・家族の集い』 日時：2016年 9月11日(日) 14:00～16:00  
 ③『サルコイドーシス患者・家族の集い』 日時：2016年10月15日(土) 14:00～16:00

**アルバイトの募集！(就労支援の一環)**

本会報誌を読者へ送付するまでのお手伝いをしてくださる方を募集いたします。  
 先着3名様！(難病患者限定)

**【作業内容】** 会報誌の折り曲げ(印刷された会報誌を二つ折にした後、郵送用の封筒に入るサイズに三つ折りにする。)**【作業場所】** アンビシャス事務所

**【実施日時】** 毎月26日～29日(平日)13:00から3時間程度  
 (実施日・日数・作業量に変動あり、詳細はお問合せください)

**【アルバイト料】** 出来高払い・・・交通費別途支給**【応募・問合せ先】** 難病相談支援センターアンビシャス TEL.098-951-0567



## ご寄付・ご支援・ご協力ありがとうございます 順不同敬称略

サポート・パートナー法人

●全保連株式会社 ●株式会社アイアム ●株式会社いなんせ典礼

毎月定期ご寄付の方々

●驥尾の会 ●株式会社ぽーしょん ●匿名2名

7月のご寄付

●MISTY美浜店 ●株式会社フォーモスト・ブルーシール北谷店 ●全保連株式会社

●知念 敏子 ●沖縄ちゃんぷるネット イオン那覇店

※ホームページにも掲載しております。アンビシャスホームページにあるコンテンツより「寄付した方々/今年度」をご参照ください。

7月のご支援・ご協力

●難病情報誌171号の折り曲げボランティアとして参加して頂いた方々

指定障がい福祉サービス事業所「あるにこ」さん

●有限会社FECオフィスよりFECお笑い劇場の優待チケット5枚頂きました。

※千羽鶴ボランティアのみな様へ ※現在折鶴の在庫が多く、誠に勝手ながら暫らく折鶴の受け入れをご遠慮させていただきます。

## 募金箱設置ありがとうございます 順不同敬称略

- ココストア浦添宮城三丁目店 ●フォーモストブルーシール北谷店 ●MISTY本店・美浜店 ●さくら家さくら
- 有限会社育英堂書房 ●てだこボウル ●西崎オートサービス ●マリンショップぶくぶく ●花野原 ●照正組
- ホテルまるき ●水のサンクス ●株式会社メガネ一番 ●株式会社琉葉 ●恒和ペイント株式会社
- さわやか歯科クリニック ●三郎寿し ●海岸創庫21 ●auショップ久茂地店 ●沖縄県栄養士会
- T-SHIRT-YA.COM国際通り店・北谷店 ●カラカラとちぶぐわー ●サウンドメール ●又吉内科クリニック
- しゃしんやきんちゃんDigi-pit店 ●日本交通株式会社 ●沖縄かりゆしアーバンリゾート・ナハ ●山城二輪
- 豚骨拉麺昇家 ●カラオケシアターDisone ●沖縄ちゃんぷるーネット(イオン那覇店1階) ●マヤMAYA
- 沖縄宝島(イオン南風原店1階) ●沖縄トヨペット株式会社港川店・中部店・小禄サザン店 ●八重山そばびんだま
- 串焼き屋あだん ●社団法人全国個人タクシー協会沖縄支部 ●全保連株式会社 ●シャトル・ケア
- 全保連コントロールセンター ●有限会社だいにちシール ●オリオンビール株式会社 ●株式会社かりさら
- 上間菓子店 ●HAIR&MAKE EARTH沖縄新都心店 ●メディケアセンター ●株式会社いなんせ典礼
- 2 Da TOP(ツダトップ)ダンススタジオ ●ジョッキハウス ●ギャラリーカフェ 海ばたー

## 法人賛助会員 順不同敬称略

- 全保連株式会社 ●沖縄トヨペット株式会社 ●有限会社クニオフィスサプライ ●株式会社 アイアム
- 弁護士法人岡野法律事務所 ●医療法人かなの会コザクリニック ●さわやか歯科クリニック ●日本交通株式会社
- 有限会社 翔南石材 ●しゅくみね内科 ●有限会社 ダイヤプリント ●株式会社 メガネ一番 ●株式会社ウェルビー
- オリオンビール株式会社 ●株式会社 名城 ●株式会社ざまみダンボール ●高良登記測量事務所 ●水のサンクス
- 社団法人 沖縄県栄養士会 ●株式会社 アクティブ ●有限会社 長堂商事 ●株式会社 アース ●プログレス
- 有限会社 沖縄矢崎販売 ●ふたば訪問看護支援センター ●株式会社 ぽーしょん ●テルモ株式会社 ●株式会社 舜
- 南西医療器株式会社 ●有限会社医学写真研究所 ●株式会社いなんせ典礼 ●有限会社 麦飯石の水

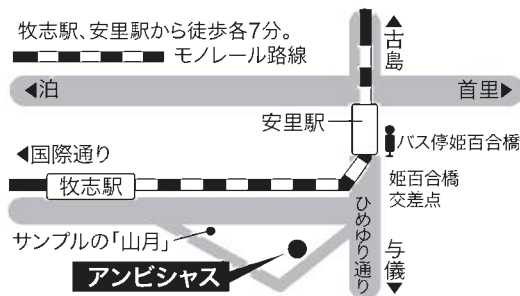
難病のことをもっと知りたい、それに伴う不安や  
家庭・職場での悩みのご相談をお受けします。

難病無料相談(電話・来所・メール・FAX)

☎098-951-0567 ✉info@ambitious.or.jp

平日10:00～17:00(土日祝日・年末年始はお休みです)

ご相談内容・個人情報については「守秘義務」を厳守します。※面談ご希望の方は、事前にご予約ください。



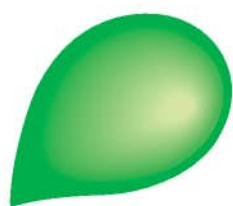
〒900-0013 沖縄県那覇市牧志3-24-29(グレイスハイム喜納2 1F)

Tel:098-951-0567(代表) Fax:098-951-0565 <http://www.ambitious.or.jp>

発行元/沖縄県難病相談支援センター アンビシャス(認定NPO法人) 理事長: 迫 幸治 副理事長: 照喜名 通



私たちは、沖縄県難病相談支援センターアンビシャスの活動を応援しています！



**Zenhoren**

全保連株式会社 代表取締役 迫 幸治  
〒900-0003 那覇市安里2丁目2番5号 TEL.098-866-4901(代表)

**RYUKYU GOLDEN KINGS**  
http://www.okinawa-basketball.jp  
facebook:Ryukyu Golden Kings Official  
TEL:098-897-7331 e-mail:customer@okinawa-basketball.jp

MARKX PRIUS AQUA ALPHARD Esquire

もっとクルマの強  
みませんか。  
Answer for you.  
TOYOPEET

**沖縄トヨペット**

学問なき経験は、経験なき学問に勝る。

Answer for you TOYOPEET

複写機・OA器機リース、レンタル、  
オフィス家具までトータル提案

**KOS** 有限会社  
**クニオフィス サプライ**

本 社 〒901-2122 沖縄県浦添市勢理客1丁目20番14号  
Tel:098-879-0162(代) Fax:098-879-0198  
E-mail : kos-knti@nirai.ne.jp  
http://www.kunioffice.net  
北部営業所 〒905-0006 沖縄県名護市大北5丁目20番25号  
Tel:0980-51-1600 Fax:0980-51-1601

とちかおくちょうさし  
**土地家屋調査士**  
**伊波 学**  
098-897-1245

http://w1.nirai.ne.jp/mabu05/  
e-mail:mabu05@nirai.ne.jp

**お墓のしょうなん**  
**新築・修繕・建替え**

お墓の年間管理いたします

◎お墓よろず相談所(無料でご自宅へのお出張OK)

《見積無料》有限会社**翔南石村**

☎945-8771 西原町字我謝688-7

ハローワークの  
「難病患者就職サポーター」による  
**出張就労相談 実施中!**

【相談日時】毎月第3火曜日 13:30~15:30

【場 所】難病支援センター アンビシャス

【ご予約・お問合せ】難病支援センター アンビシャス

TEL.098-951-0567 担当: 照喜名、西土井

※完全予約制! (a)13:30~14:30 (b)14:30~15:30

(a) (b) のいずれかの時間枠でご予約願います。



Otsuka-people creating new products  
for better health worldwide



**Otsuka** 大塚製薬株式会社  
東京都千代田区神田西河原2-8